

新濃尾(二期)農地防災事業

新木津用水路小牧二重堀工区 (その3)改修工事

本地区は、名古屋市北東部の小牧市に位置し、東名高速道路や住宅地および工業団地に隣接しています。本工事は、施工延長170mのコンクリートブロック積護岸と現場打ちの底張工、橋梁工事1基、暫定取付工を1箇所施工しています。

また、河川(薬師川)との共用区間での施工のため、工区の上流側で仮締切りし、水中ポンプで他の河川に強制排水しています。しかし、ある程度の雨が降ると河川が増水し、水中ポンプの能力を超えて仮締切を越流し、現場が水没することも何度かありました。現場周辺で雨が降らなくても、上流区域にまとまった雨が降ると河川が増水し、越流しそうになったことも何度かあり、常に天気予報を考慮して作業を進めてきました。

現場は、住宅地に近接しており、工事用道路が生活道路になっているため、工事に伴う振動・騒音・粉塵や工事用車両の通行に対して細心の注意を払うと伴に、近隣住民とのコミュニケーションを大切にすよう努めてきました。平成31年2月末時点で、水路工事が8割ほど完了し、3月26日の通水に向け、現在、奮闘努力しています。今後も、安全と第三者を第一に、無事故・無災害で竣工できるように、一生懸命頑張っていきます。



監督職員からのエール

本工事は、水路沿線の開発により降雨流出量が増大して機能低下した新木津用水路(10.6km)のうち、一級河川庄内川水系薬師川との共用区間(2.1km)170mの改修を行うもので、東名高速と国道155号に挟まれた市街地での施工という現場条件に加え、河川区域内の施工は非出水期の11月から非かんがい期の3月下旬までという工程制限があることから、安全管理は勿論、的確な工程管理と効率的な施工を行う必要があります。

このため、受注後に河川内進入仮栈橋や仮廻し水路の見直しによる工期短縮及びコスト削減の提案をいただき、降雨時の排水は施工断面を流下させるリスクをとりつつも、順調に工事が進捗しています。また、工事便を作成し回覧するなど、的確な地域住民の方とのコミュニケーションに取り組んでいただいております。大きな苦情も寄せられていません。

引き続き品質の高い施工により、無事故・無災害で完成することを期待しています

監督職員

(写真左) 新濃尾農地防災事業所

工事第二課長 横山 清文

現場代理人

(写真右) 株式会社熊谷組

小牧二重堀作業所 中村 竜哉

